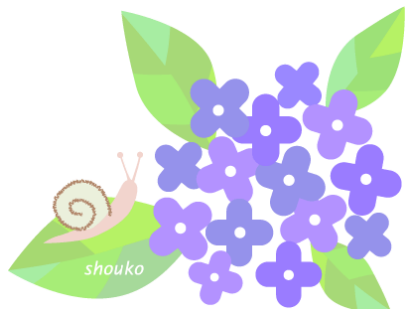


入梅（にゅうばい）



梅雨に入ることを「入梅」といいますが、農作業をする上で雨期を知ることとはとても重要なことなので、江戸時代に暦の上での「入梅」が設けられ、雑節のひとつとなりました。

「入梅」は、芒種後の最初の壬〔みずのえ〕の日です。それは、陰陽五行説で「壬は水の気の強い性格」とされており、水と縁がある日ということで、入梅の時期の目安に選ばれました。

梅雨に入る目安の日

入梅は、梅雨の季節に入る最初の日で「にゅうばい」と呼び、その日から約30日間は梅雨です。

梅の実が熟する頃に雨季に入ることから入梅といわれるようになったとか、この頃は湿度が高く黴〔かび〕が生えやすいため「黴雨〔ばいう〕」が転じて梅雨になったともいわれています。

しかし、実際は毎年同じ日に梅雨入りがくるわけではなく、地域や気候によって差が生じるため、気象庁の出す「梅雨入り宣言」が実際の梅雨入りの目安になっています。



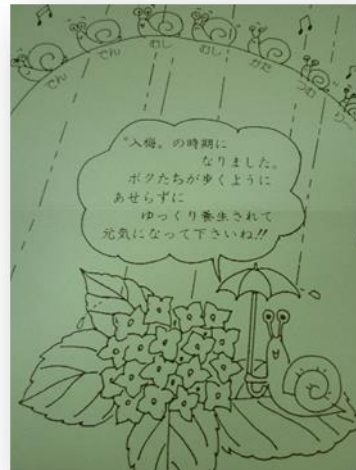
当院の入梅行事食



入梅行事食

【普通食献立】

- ・えんどうご飯
- ・鶏肉のオレンジソースがけ
- ・茄子の田楽
- ・小田巻蒸し
- ・メロン



食事につけた行事食カード

患者様からのご感想

- ・でんでん虫さんありがとう。あなたのように、焦らずゆっくりしっかり治します。ごちそうさまでした。
- ・明日やっと退院できることになりました。入院して絶食を4日間しその間ずっと卵とじうどんが食べたいと思っていました。今日の夕食でその望みがかなえられました。口から食べられることに感謝し毎日美味しくいただきました。ありがとうございました。
- ・毎食楽しみにしています。温かいご飯にお汁に気持ちがあっつします。ありがとうございます！

沢山のご感想をいただきありがとうございました。平成27年6月 丹後中央病院 栄養科